

第2章 本県産業の発展を支える人材に必要な資質・能力

第1章に示した高校生を取り巻く状況の変化を踏まえ、社会で必要となる基礎的な学力（読解力、文章力、計算力）を高等学校において確実に身に付けた上で、本県産業の発展を支える人材として、次のような資質・能力を育成していくことが必要である。

- 職業人として望ましい勤労観・職業観・倫理観をもち、将来の職業生活を見据えた進路を選択し、産業や社会の発展に貢献できる人材として必要な「社会人基礎力」、「職業選択能力」を育成する。
- IoT*やAI*、ビッグデータ*等の先端技術を活用し、Society5.0と呼ばれる超スマート社会を支える産業人材として必要な「好奇心」、「探究力」、「創造力」、「情報活用能力」を育成する。
- 生産年齢人口の減少に伴う産業現場のダイバーシティやロボット化など、産業構造の急速な変化に対応できる産業人材として必要な「グローバルな視野」、「コミュニケーション能力」、「マネジメント能力」を育成する。

*IoT：建物、電化製品、自動車、医療機器など、パソコンやサーバーといったコンピューター以外の多種多様な「モノ」がインターネットに接続され、相互に情報をやり取りすること。

「Internet of Things」の略で、「モノのインターネット」と呼ばれることもある。

*AI：人間が持っている、認識や推論などの能力をコンピューターでも可能にするための技術の総称。人工知能とも呼ぶ。

*ビッグデータ：インターネットの普及や、コンピューターの処理速度の向上などに伴い生成される、大容量のデジタルデータを指す。